

大町市の企業紹介 50

— 地域を支える地方企業 —

「広報おおまち」では、市内の企業を紹介しています。内容は企業から提出いただいた原稿を基に掲載しています。掲載を希望する企業は、産業立地戦略室（〒190-0841）までご連絡ください。



ソーラーカナモリ株式会社

クリーンエネルギーを生み出す

環境負荷低減へのさまざまな取り組みが行われる中、当社は、北アルプスを望む美しい自然を守りつつ地域産業の発展を推進するため、平成24年12月に設立し、太陽光発電事業を行っています。太陽光発電は、燃料を一切使用せず太陽の光をエネルギーに変えるため、空気汚染が全くなく、二酸化炭素や温室効果ガスの排出量の削減に効果がある事業の一つとして注目されております。

25年7月には、平・西原に大町

市で初の2メガワットの発電能力を有する「北アルプス太陽光発電所」を建設しました。これは一般世帯577世帯分の年間消費電力に相当し、年間の二酸化炭素を654・16トン削減します。本年7月には、北原町・宮田町に500キロワットの発電所が完成するほか、以後、数カ所建設予定で



- 所在地：大町市大町1252-5（白塩町）
Tel.22-8801
- ホームページ：<http://www.kanamoriken.co.jp/>
- 代表者：代表取締役 金森次郎
- 事業内容：自然エネルギーなどに関する事業

す。また、大町市の「めぐみめぐるまち」の理念に基づき、グリーンパークの跡地利用として太陽光発電を提案するなど、地域発展のため意欲的に寄与しております。「次世代の子どもたちのために私たちができることは何か」「この美しい自然環境を未来に残すために少しでも貢献できることは何か」を常に考えながら、これからも自然環境に負荷の少ないクリーンエネルギーを作り出していきたいと考えております。

有限会社 北福島

事務用品、学用文具、事務機器を販売

当社は、大正12年に現代表の父、鉄夫が創業しました。当初は、日用品などの荒物雑貨を取り扱っていたようです。その後、和紙の製造販売を行ったことから、北福島紙店と称した時期がありました。太平洋戦争が激しくなった数年間は店を閉めていましたが、終戦とともに営業を再開し、昭和26年に（有）北福島商店として法人を設立し、48年に（有）北福島に変更しました。

現在の主力商品である事務用品については、昭和10年代にコクヨ社の洋式帳簿や洋式文房具を扱うようになったのが始まりです。30年代には、当時、青焼きと呼ばれていたリコー社のジアゾ複写機を販売しましたが、これはこの地域で最初の事務機器の取り扱いでした。また、輪転機、電子式複写機など多種類の複写機も扱うようになりました。40年に入ると、その当時では画期的な商品であつ



- 所在地：大町市大町2537（上仲町） Tel.22-0123
- ホームページ：<http://www.kitafukusima.co.jp/>
- 代表者：代表取締役 福島辰郎
- 事業内容：事務用品・文具・事務機器小売

た電子式計算機が発売されましたが、当社は当初から取り扱って

きました。こうした商品は時代の変遷を経て、現在の電卓やパソコンなどへと進化を遂げてきました。当社は、市民の皆さまのみならず、北安曇郡や安曇野市まで、お客さまのさまざまなニーズにお応えできるよう、最新の事務機器や付随する商品を取り扱っております。今後ともご愛顧の程よろしく願います。